

『過員攻撃』のガギは3・24

日刊 動労千葉

85. 3. 20

No. 1893

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七



「60・3」実力決起がきり拓いた地平に確信も固く、「3・24」総決起・過員攻撃粉碎!

3/18 第11回定期委員会から出る

3月18日に開催された動労千葉第11回定期委員会は「60・3」阻止闘争を総括し、かちとつた成果を全体で確認するとともに「3・24三里塚」への5割決起を実現する取り組みを通して直面する「過員対策」攻撃を打ち破り、85春闘に勝利する当面の取り組みについて満場一致で決定した。

すべてを3・24へ!
中野委員長と北原事務局長が共に呼びかけ

委員会は「60・3」阻止闘争を全国で唯一、実力で闘いぬいた各支部の委員、傍聴者が結集するなか、定

刻の10時に山口副委員長の開会宣言で始まった。
中村特執の資格審査発表を受けて、断固たる成

立宣言が寄せられ、議長に津田沼支部の綾部委員
が選出された。

本部を代表して中野委員長があいさつにたち、
まず委員会の獲得目標について、第一に「60・3」

の偉大な総括を全体のものとする。第二に想定さ
れる「過員」攻撃にうちかつたために3・24への圧

倒的動員を実現し、85春闘を闘いぬく意志一致を
かちとること。と提起した。そのうえで「60・3」

闘争に触れ、国鉄労働運動の総屈服状況をのりこ
え、動労千葉が唯一、決起したことの偉大性につ

いて鮮明に提起するとともに、「60・3」でかち
とつた成果を武器に「過員」攻撃を打ち破ること

の重要性とその成否の一切が「3・24」五割動員
の実現にかかっていることを明らかにした。

つづいて決戦の中、三里塚現地からかけつけた
反対同盟の北原事務局長は「現地では二期との闘

いが連日繰り返されている。反対同盟は動労千葉
と連帯し、信頼のうえに闘ってきた。3・24に全

国の労働者の最先頭で闘う動労千葉の参加なしに
三里塚闘争の勝利はない。5割動員で結集し、共

13名の委員が自信に満ちあふれた
発言

直ちに、「経過」「当面する取り組み」「ス
ローガン」「労働協約・協定締結」「一九八五年
度暫定予算」について、満場の拍手で確認した。
つづいて、片岡執行委員が「闘争宣言」を読み
あげ、拍手で確認した後、田中青年部長の音頭で
組合歌合唱、中野委員長の団結ガンバローをもつ
て17時30分、成功裡に終了し、一斉に3・24の組
織化に突入した。

直ちに3・24の組織化に突入